



一般財団法人 高専インフラメンテナンス人材育成推進機構

## 事業報告書

第2期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

一般財団法人 高専インフラメンテナンス人材育成推進機構

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター内

電話：0773-62-8877（直通） Eメール： [office@kosen-reim.or.jp](mailto:office@kosen-reim.or.jp)

<https://www.kosen-reim.or.jp/>



## 1. 当機構の概要

### 1) 評議員（令和7年3月31日現在）

	氏名	所属・役職	就任年月日
評議員	谷本 光司	一般社団法人近畿建設協会 理事長	令和5年6月30日
評議員	田口 重憲	福島工業高等専門学校 校長	令和5年6月30日
評議員	小林 幸夫	長岡工業高等専門学校 校長	令和5年6月30日
評議員	長谷川 章	福井工業高等専門学校 校長	令和5年6月30日
評議員	林 康裕	舞鶴工業高等専門学校 校長	令和5年6月30日
評議員	荒木 信夫	香川高等専門学校 校長	令和6年6月26日

### 2) 役員（令和7年3月31日現在）

	氏名	所属・役職	就任年月日
理事長	西川 和廣	—	令和5年6月30日
専務理事	田村 隆弘	都城工業高等専門学校 校長	令和5年6月30日
理事	齊藤 充弘	福島工業高等専門学校 教授	令和5年6月30日
理事	井林 康	長岡工業高等専門学校 教授	令和5年6月30日
理事	辻野 和彦	福井工業高等専門学校 教授	令和5年6月30日
理事	玉田 和也	舞鶴工業高等専門学校 教授	令和5年6月30日
理事	林 和彦	香川高等専門学校 准教授	令和5年6月30日
監事	西本 拓司	杠司法書士法人 副代表	令和5年6月30日

## 2. 会員

### 1) 法人会員（令和7年3月31日現在）50音順

株式会社アズマ	株式会社設計コンサルタント
阿南電機株式会社	株式会社ダイアテック
株式会社植木組	大日コンサルタント株式会社
株式会社ウエルアップ	株式会社太平洋コンサルタント
エヌシーイー株式会社	田中シビルテック株式会社
<u>株式会社大阪防水建設社</u>	長栄工業株式会社
オムニ技研株式会社	株式会社千代田コンサルタント
開発技建株式会社	株式会社テラノエンジニアリング
<u>一般社団法人香川県測量設計業協会</u>	東北レミコン株式会社
<u>株式会社香川設計センター</u>	内外エンジニアリング株式会社
株式会社川金コアテック	新潟ボンド工業株式会社
株式会社キタック	西日本高速道路株式会社
株式会社キナン	ニチレキ株式会社
一般財団法人京都技術サポートセンター	株式会社日本ピーエス
<u>一般財団法人橋梁調査会</u>	<u>一般社団法人日本橋梁建設協会</u>
<u>極東興和株式会社</u>	一般社団法人日本建設保全協会
一般社団法人近畿建設協会	日本ミクニヤ株式会社
一般財団法人建設業振興基金	株式会社ニュージェック
<u>一般財団法人建設物価調査会</u>	株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟
建設塗装工業株式会社	株式会社ネクスコ・メンテナンス新潟
建装工業株式会社 土木リニューアル事業部	阪神高速技術株式会社
株式会社構造技研新潟	藤木鉄工株式会社
サン・ロード株式会社	株式会社復建技術コンサルタント 関西支店
<u>公益財団法人滋賀県建設技術センター</u>	<u>一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会</u>
一般社団法人滋賀県建設業協会	株式会社本間組
ショーボンド建設株式会社	株式会社レックス
有限会社神輝興産	

以上 53 団体（下線は新規入会団体）

### 2) 行政会員（令和7年3月31日現在）50音順

都道府県	市町村		
京都府	綾部市	京丹波町	舞鶴市
滋賀県	出雲崎町	<u>高松市</u>	<u>見附市</u>
	小千谷市	長岡市	養父市*
	京田辺市	福知山市	

以上 13 団体（\*印は賛助会員、下線は新規入会団体）

### 3) 個人会員

令和7年3月31日現在 3名(氏名省略)

### 3. 連携高専および顧問

#### 1) 教育拠点高専(令和7年3月31日現在)

福島工業高等専門学校 長岡工業高等専門学校 福井工業高等専門学校	舞鶴工業高等専門学校 香川高等専門学校
--	------------------------

#### 2) 顧問(令和7年3月31日現在)

	氏名	所属・役職
顧問	丸山 久一	長岡技術科学大学・名誉教授
顧問	堂垣 正博	関西大学・名誉教授
顧問	内海 康雄	舞鶴工業高等専門学校・名誉教授
顧問	松田 浩	長崎大学・名誉教授
顧問	佐伯 竜彦	新潟大学工学部社会基盤工学プログラム・教授
顧問	沢田 和秀	岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター長・教授
顧問	吉武 勇	山口大学大学院創成科学研究科・教授
顧問	森脇 亮	愛媛大学大学院理工学研究科・教授
顧問	加賀山 泰一	阪神高速技術株式会社・代表取締役社長

#### 4. 会議の開催

##### 1) 理事会

会議名	開催日	会場	議題
第1回理事会	令和6年6月5日	オンライン	①令和5年度事業報告および決算 ②会報の発行形態について (報告)KOSEN-REIM フォーラム開催について
定款第37条2による決議 (決議の省略)	令和6年10月2日	—	①拠点高専支援基準について ②会員メニューについて (報告)会報について (途中経過)
第2回理事会	令和7年3月31日	オンライン	①令和7年度活動計画および収支予算案 ②顕彰事業について ③一財の預金口座増設について

##### 2) 評議員会

会議名	開催日	会場	議題
第1期 定時評議員会	令和6年6月26日	オンライン	①評議員の辞任および選任 ②令和5年度事業報告 ③令和5年度決算審議

#### 5. 事業

##### 1) REIM 拠点高専の支援

インフラメンテナンスのリカレント教育を行う拠点高専に対し、金銭的支援を行った。支援金額は当機構の拠点高専に対する支援基準に基づき、各校の地元の法人会員からの前年度会費収入を加味した支援金額枠を定め、その枠の中で各校の申告により決定した。各校の支援金額は以下の通りである。

学校名	支援金額 (円)
福島工業高等専門学校	200,000
長岡工業高等専門学校	1,089,000
福井工業高等専門学校	200,000
舞鶴工業高等専門学校	1,200,000
香川高等専門学校	200,000
合計	2,889,000

## 2) KOSEN-REIM フォーラムの開催

当機構は REIM の拠点を全国に広めるとともに、インフラメンテナンスに関する教育・研究を行う高専教員のネットワークを形成し、インフラメンテナンスの学びを活性化させることで、すべての必要な人が全国の高専でインフラメンテナンスを学べる社会を目指している。この理念を広く共有するため、誰でも参加可能であり、かつ参加した会員に対しては会員ランクに応じた高専教員との交流機会を提供するイベントを開催した。

### KOSEN-REIM フォーラム 2024 in 東京

開催日時： 第1日 令和6年7月13日(土) 14:00~19:15

第2日 令和6年7月14日(日) 10:00~12:00

会場： 第1日 イイノホール&カンファレンスセンター

第2日 多摩川スカイブリッジ

#### 式次第：

第1部 シンポジウム(どなたでも参加可能) 第1日 14:00~16:00

1. 開会挨拶 理事長 西川 和廣
2. 基調講演「データ駆動型社会における地域のインフラ維持管理と人材育成」  
北海道大学大学院工学研究院 土木工学部門 教授 長井 宏平 氏
3. 話題提供「土木の世界は怖くない、の取り組み」  
明石工業高等専門学校 都市システム工学科 講師 生田 麻実 氏
4. トークセッション 長井 宏平 氏、生田 麻実 氏  
聞き手 理事・事務局長 玉田 和也
5. 活動報告・ご支援のお願い 玉田 和也
6. 閉会の挨拶 専務理事 田村 隆弘

第2部 高専教員参加セッション(会員限定) 第1日 16:15~17:00

高専教員による研究・教育活動紹介

明石工業高等専門学校 都市システム工学科 講師 生田 麻実 氏

木更津工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授 原田 健二 氏

岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 水野 和憲 氏

阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 建設コース 教授 森山 卓郎 氏

第3部 意見交換会(会員限定) 第1日 17:15~19:15

第4部 見学会「西川理事長と巡る多摩川スカイブリッジ」(シルバー会員以上限定)

第2日 10:00~12:00

フォーラム第1部には高専教員、関係者、会員、一般合わせて計38名が参加した。シンポジウムでは、北海道大学大学院工学研究院土木工学部門の長井 宏平 教授より基調講演をいただき、続いて明石高専都市システム工学科の生田 麻実 講師より話題提供をいただいた。当機構事務局長 玉田 和也を交えたトークセッションでは、地方のインフラの維持管理や土木を志す学生の確

保など、業界を取り巻く課題が共有された。

第2部の高専教員参加セッションでは、企業の実務者と高専教員がひざを突き合わせて語り合えるよう少人数のパネルディスカッション形式で、明石高専・生田 麻実 講師、木更津高専・原田 健二 准教授、岐阜高専・水野 和憲 教授、阿南高専・森山 卓郎 教授の4教員の研究紹介をきっかけとした情報交換が行われた。部屋を変えて行われた第3部・意見交換会には、唯一の高専OB国会議員である梶原大介参議院議員も駆けつけ、力強い応援の言葉をいただいた。

2日目の第4部には18名が参加した。多摩川スカイブリッジの構造検討を主導した当機構 西川 和廣 理事長（当時土木研究所理事長）の案内により、同橋の見学を行った。同橋の橋梁形式選定や維持管理性の確保に関して解説を聞いた後、徒歩で橋を渡りながら維持管理のポイントとなる部分を見て回った。

### 3) 会報発行

当機構の会員に対し、会員から寄せられる会費によって成り立っている当機構と支援先各高専の活動を報告する目的で、会報の発行を行った。会報にはこれらの活動報告に加えて、有識者からの寄稿や、橋梁観察を趣味として公開し人気を博す人物の寄稿など、読み物としての面白さを追求した冊子とし、将来的に非会員への配布も目指したものとしている。

一般財団法人高専インフラメンテナンス人材育成推進機構 2024年度会報

令和7年3月1日発行

A4サイズ 28ページ 全面カラー光沢印刷

### 目次

- 高専活動報告 舞鶴高専 | 福島高専 | 長岡高専 | 福井高専 | 香川高専
- フォーラム報告 記者の目からの「KOSEN-REIM フォーラム 2024 in 東京」 | 漆原 次郎
- フォーラム報告 紙面再録「西川理事長と巡る多摩川スカイブリッジ」 | 同
- 特別寄稿 君は隅田川の橋に何を見たか | 紅林 章央
- 特集 橋ノ形式ト名称ニ就テ | 「日本の廃道」編集部
- 特集 ー旧橋紀行ー 京都府・鞍馬街道の旧RC橋 | 同
- 寄稿 学んだ経験も、教える経験も 仕事に活かしている | 梅木 涼平
- 寄稿 「つくる」から「守る」へ 次代を担う人づくりをKOSEN-REIMで | 佐藤 智
- 寄稿 高専5年生でのiMec体験 | 荒木 美柚
- 理事長メッセージ 地方のインフラメンテナンス支援のため、できることは何でもしなければならぬ | 西川 和廣
- 会員・入会案内
- 事業報告・正味財産増減計算書、ニュース、後記

会報は当機構会員・関係者・REIM産学連携コンソーシアム参画団体、各地の地域協議会会員らに進呈した。

#### 4) Web メディア「R2SJ」連載

「道路・鉄道の構造物の『人と現場』を映像と記事で伝える」Web メディア、R2SJ(<https://r2sj.net/>)に、KOSEN-REIM の取り組みを令和 6 年 9 月から毎月 1 回リレー連載している。令和 7 年 3 月までの題目は以下の通りである。

#### 高専発、インフラメンテナンス人材育成・KOSEN-REIM（高専レイム）の挑戦

回	発行日	サブタイトル	著者
1	R6.9.1	KOSEN-REIM が行うインフラメンテナンスのリカレント教育	玉田 和也
2	R6.10.1	KOSEN-REIM が行うインフラメンテナンスのリカレント教育(2)	玉田 和也
3	R6.11.1	私が KOSEN-REIM の理事長を引き受けたわけ	西川 和廣
4	R6.12.1	「自ら学ぶ力」と「問題解決に使える力」を身に着けさせる	玉田 和也
5	R7.1.1	高専の役割、KOSEN-REIM の役割	田村 隆弘
6	R7.2.1	国土交通大臣賞を受賞！	玉田 和也
7	R7.3.1	橋梁診断で求められる設計施工のスキル修得（専門特修講座：施工技術と施工管理）	林 和彦

#### 5) 会員向けサービスの実施

会員向けに以下のサービスを行った。

- ・教育拠点高専が行うリカレント講習会の参加枠確保（全会員）  
一般向け受講申込み開始に先行して、会員向けの優先枠を確保し、申込み受付を行った。
- ・イベント開催（全会員、シルバー会員以上）  
前記「KOSEN-REIM フォーラムの開催」参照
- ・広報誌等への協力（ゴールド会員以上）  
法人会員 1 社について、講習会の見学および取材を受け入れ、その模様を同会員が発行する書籍および Web サイトにて公開することに協力した。
- ・インターン情報紹介（ゴールド会員以上）  
各高専で行われる夏期インターンシップに受入れ表明をした会員のうち希望する会員について、その情報を REIM 関連教員に直接紹介した。該当は 4 社 6 件であった。
- ・行政会員技術支援  
行政会員 2 団体に対し、橋の架け替えに関する設計検討を行った（舞鶴高専）。

#### 6. 付記

当機構が支援し、インフラメンテナンスに関するリカレント教育の開発・運営を行う「REIM 産学連携コンソーシアム」が、第 8 回インフラメンテナンス大賞・国土交通大臣賞を受賞した。新たな機関を創設しており、全国の教育内容に関与している点、産官学民の分野に働きかけ、建設業界の人材確保の一助として定量的な効果がある点が評価された。授賞式は令和 7 年 1 月 16 日に首相官邸で行われた。本件は当機構にとっても名誉なことであり、引き続きリカレント教育の継続・拡大のために力を尽くしていく所存である。

以上